

「あっ晴れ！おかやま国文祭」における県の実施事業について

10月30日(土)から開催される「第25回国民文化祭・おかやま2010(あっ晴れ！おかやま国文祭)」において、県が実施する事業(開会式及び閉会式を除く。)は次のとおりである。

1 シンポジウム「地域と『文化』」

～温故知新－明日を開くアジアと岡山～

- (1) 日時 平成22年11月3日(水・祝) 13:00～16:30
- (2) 会場 岡山市民会館
- (3) 概要 主に韓国、中国、日本などの東アジアを見据え、岡山の先人たちのアジアとの関わりや足跡等を振り返りながら、アジアの一員として現代に生きる私たちの考え方や行動に生かす方策を探る。
- (4) 内容
 - ・基調講演：五木寛之(作家)「アジアのこころ 日本のこころ」
 - ・パネルディスカッション
コーディネーター：大原謙一郎(社)岡山県文化連盟会長
パネリスト：崔洋一(映画監督)
松本健一(評論家)
王敏(法政大学教授)
 - ・特別公演：唐子踊り、中国江西省雑技団

2 生活文化・暮らしと味わい総合フェスティバル

～見る・聞く・味わう 驚き発見 あっ晴れ岡山大集合！～

- (1) 日時 平成22年11月6日(土)・7日(日) 10:00～16:00
 - (2) 会場 岡山県総合グラウンド
 - (3) 概要 華道、茶道、囲碁、将棋などの生活文化、衣食住、国民娯楽など日常生活に密着した幅広い分野の展示発表、実演等を行う。
 - (4) 内容
 - ・文化の彩りゾーン
生活に潤いを与えてくれる様々な「生活文化」の展示と実演
 - ・あっ晴れ岡山ゾーン
岡山の生活文化を「四つのものがたり」で構成
展示や伝統工芸士等による実演やワークショップも開催
 - ・おかやま三昧ゾーン
あっ晴れステージ
ご当地グルメフェア 等
 - ・遊悠おかやまゾーン
暮らしのクラフト
昔あそびひろば
- ※大華道展、おかやまエコ&フードフェア2010を同時開催

3 メディア芸術祭


～メディア文化もまちへ飛び出せ！～

- (1) 日時 平成22年10月30日(土)～11月7日(日) 10:00～18:00
- (2) 会場 岡山市デジタルミュージアム
- (3) 概要 映画、マンガ、アニメーション、ゲーム、CGアートのメディア芸術をわかりやすく紹介するとともに、メディア芸術の可能性を探る。

シンポジウム「地域と『文化』」

温故知新 — 明日を開く

アジアと岡山

- 日時 平成22年11月3日 
13:00~16:30
- 会場 岡山市民会館

基調講演



「アジアのこころ 日本のこころ」

五木 寛之氏(作家)

1932年、福岡県に生まれる。戦後、北朝鮮より引揚げ。早稲田大学文学部ロシア文学科中退。1966年、『さらばモスクワ愚連隊』で小説現代新人賞、『蒼ざめた馬を見よ』で第56回直木賞受賞。『青春の門』で吉川英治文学賞をうける。代表作は『朱鷺の墓』『戒厳令の夜』『蓮如』『大河の一滴』『21世紀仏教への旅』。翻訳にチューホフ『犬を連れた貴婦人』リチャード・バック『かもめのジョナサン』ブルック・ニューマン『リトルターン』などがある。2002年度第50回菊池寛賞を受賞。最近作に『親鸞』(上下巻)などがある。

MEMO

特別公演

唐子踊(唐子踊保存会)

唐子踊は、岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓紺浦の通称疫神社の秋の祭礼に、神事として奉納される稚児舞いである。異国風の鮮やかな色彩の衣装を着けた二人の男児が、肩車に乗って参詣し、囃子方の小太鼓・横笛と意味の全くわからない歌に合わせて踊るもので、衣装も歌も踊りの動作も、他にほとんど類例を見ない独特なものである。

【「唐子踊」(唐子踊保存会発行)より】

中国江西省雑技団

中国江西省雑技団は1961年に設立され、約50年の歴史があり、雑技のみならず、奇術、滑稽(Comedy)など多様な演目の実施により、中国国内公演に加え、1983年以来、世界60カ国以上の国と地域を訪れ、中国の芸術文化を紹介するとともに、中国と世界各国の人々との相互理解と友好親善を深めている。特に岡山県では、雑技団がある江西省と友好協定を結んでいることから、数多くの公演を行っている。

パネルディスカッション

パネリスト **崔 洋一氏**(映画監督)
松本 健一氏(評論家、麗澤大学教授)
王 敏氏(法政大学国際日本学研究所教授)

コーディネーター **大原謙一郎氏**((社)岡山県文化連盟会長、(財)大原美術館理事長)



崔 洋一氏

1949年、長野県出身。1976年『愛のコリーダ』(大島渚監督)などの助監督を務め、1983年『十階のモスキート』で映画監督デビュー。1993年、『月はどっちに出ている』で日本アカデミー賞などの映画賞を総なめにする。1996年に韓国留学。主な作品は、『いつか誰かが殺される』、『花のあすか組』、『A サインデイズ』、『マークスの山』、『犬、走る DOG RACE』、『豚の報い』、『刑務所の中』、『クイール』、『血と骨』など。最新作『カムイ外伝』は2009年10月公開。現在、日本映画監督協会理事長。



松本 健一氏

1946年、群馬県出身。東京大学経済学部卒業後、法政大学大学院で近代日本文学を専攻。在学中に『若き北一輝』を発表し話題となる。1983年から北京日本語研修センター(外務省)教授、1989年から京都精華大学教授(～94年)、1994年から麗澤大学教授、1997年から日韓合同学会議長(～03年)、2004年「世界イネ研究会議」で講演、2009年から比較文明研究センター所長を務める。1995年に『近代アジア精神史の試み』でアジア太平洋賞、2002年に『日本の近代1 開国・維新』で吉田茂賞。2005年に第8回司馬遼太郎賞。また『評伝 北一輝』全5巻で第59回毎日出版文化賞。著書は『司馬遼太郎を読む』、『藤沢周平が愛した静謐な日本』、『海岸線の歴史』、『村上春樹—都市小説から世界文学へ』、『日本のナショナリズム』ほか多数。



王 敏氏

1954年中国河北省承德市生まれ。1977年、大連外国語学院日本語学部卒業。四川外国語学院大学院(日本文学)修了、同学院専任講師。文化大革命後、中国全土の大学教員から選出した国費留学生として1982年、宮城教育大学に留学。2000年、お茶の水女子大学で人文科学博士号を取得。東京成徳大学教授を経て、法政大学教授、上海同済大学客員教授。日中関係史学会評議員、東アジア文化交渉学会評議員、日本ペンクラブ会員。著書は、『日本と中国 相互誤解の構造』、『日中2000年の不理解—異なる文化「基層」を探る』、『謝々! 宮沢賢治』、『宮沢賢治、中国に翔る想い』、『宮沢賢治と中国』、『花が語る中国の心』、『美しい日本の心』ほか多数。



大原謙一郎氏

1940年、神戸市に生まれる。1963年、東京大学経済学部卒業、1964年、エール大学大学院経済学部修士課程修了、1968年、同大学院同学部博士課程修了、倉敷レイヨン(現(株)クラレ)に入社。1982年、副社長として財務、総務、労務、経営管理、研究開発などを担当。1990年、株式会社中国銀行に移り、1998年まで同行副頭取。現在、財団法人大原美術館理事長として財団法人の経営にあたるかたわら、倉敷芸術科学大学客員教授として非営利事業経営論を講義。また、第25回国民文化祭・おかやま2010では、企画委員長として岡山県の文化・芸術の発信に努めている。他に、倉敷商工会議所会頭、(財)倉敷中央病院理事長、(社)岡山県文化連盟会長等を兼ねる。

MEMO



第25回国民文化祭岡山県実行委員会

〒700-8570 岡山県岡山市北区内山下二丁目4番6号
TEL 086-226-7905 FAX 086-221-5620



生活文化・暮らしと味わい

総合フェスティバル

見る・聞く・味わう 驚き発見 あっ晴れ岡山大集合! 入場無料

2010 11/6(土)・7(日)

午前 10 時～午後 4 時

岡山県総合グラウンド

*会場には駐車場はありません。
公共交通機関等でご来場ください。

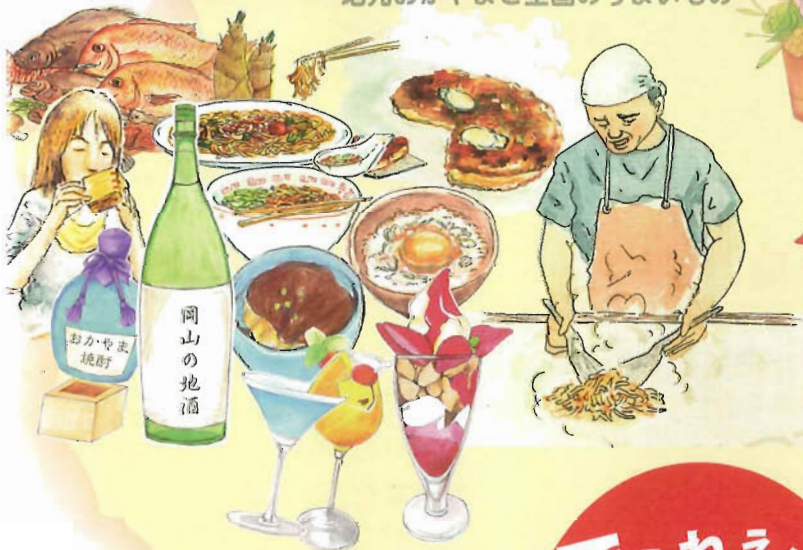
文化の彩りゾーン

『生活文化』の展示・実演・体験



おかやま三昧ゾーン

地元おかやまと全国のうまいもの



あっ晴れ岡山ゾーン

おかやまの『生活文化』
食・酒・手仕事・衣：四つのものがたり



遊悠おかやまゾーン

昔あそびひろばと暮らしのクラフト



でえれえ、
おもれえ、
美味しい!
2日間!!



同時開催

地球温暖化や地産地消、
食料自給率の向上など
エコやフードについて考えよう!

おかやま エコ&フードフェア 2010

楽しいイベントいっぱい!

<http://okayama-kokubunsai.jp/>

おかやま国文祭 検索

第25回国民文化祭岡山県実行委員会事務局

E-mail: kokubunsai@pref.okayama.lg.jp

〒700-8570 岡山県岡山市北区内山下2丁目4番6号

TEL:086-226-7907

FAX:086-221-5620



『見る・聞く・味わう 驚き発見 あっ晴れ岡山大集合!』

お茶、お花、きものなどの伝統的な生活文化から、食、酒など暮らしを楽しむ生活文化まで多彩なイベントを開催します。

岡山県総合グラウンド イベントマップ



【体育館拡大図】

文化の彩りゾーン

(桃太郎アリーナ メインアリーナ)

生活に潤いを与えてくれる様々な「生活文化」の展示と実演。

- 【出展団体】 日本いけばな芸術協会、日本華道連盟、お香の会、日本コントラクトブリッジ連盟、表千家同門会、茶道裏千家淡交会、日本将棋連盟、全日本煎茶道連盟、全日本きものコンサルタント協会、日本フラワーデザイナー協会、人形美術協会、民族衣裳文化普及協会、日本棋院、ワールド・プレスフラワー協会

★彩りステージプログラム (アリーナ特設ステージ)

- 6日(土) ・きものショー(全日本きものコンサルタント協会) ・三友の式(茶道裏千家淡交会) ・王朝装束ショー他(民族衣裳文化普及協会) 7日(日) ・辻説法「お香と仏教」(お香の会) ・韓国舞踊(M&S舞踊団) ・プロ棋士公開対局と大盤解説(日本棋院)



環境に配慮したイベントのため、「マイ箸、マイバッグ」のご持参をお願いします。また、会場に駐車場はありません。公共交通機関、徒歩、自転車でご来場ください!

※都合により、内容が予告なく変更になる場合があります。

2010 11/6(土)・7(日) 午前10時~午後4時

岡山県総合グラウンド 岡山市北区いずみ町2-1

おかやま三昧ゾーン

(スポーツの森広場 園路)

★あっ晴れステージプログラム (屋外特設ステージ)

- 6日(土) ・「はなかつぱ」キャラクターショー ・あっ晴れ!おかやま国文祭盛り上げ隊パフォーマンス ・ドラムサークル岡山「打楽器ワークショップ」 7日(日) ・「エコロジックシアター」リサイクル楽器パフォーマンス ・「オーケイ」エコ&フード漫才 ・あっ晴れ!おかやまカクテルコンペティション など

ご当地グルメフェア

県内はもちろん全国各地からご当地グルメが集合。

出店予定

【全国のグルメ】 姫路おでん、高砂にくてん、富士宮やきそば、じゃこカツ、四日市とんてき、高槻うどんギョウザ、焼豚玉子飯、須崎名物鍋焼きラーメン、徳島ラーメン

【県内のグルメ】 たまごかけごはん、日生カキお好み焼き、かき丼、牛餅丼、おかやまデミカツ丼、津山ホルモンドン、笠岡らーめん、千屋牛ラーメン、備前カレー、ひるぜん焼そば、はずバーガー、朝塩焼きそば、キムおこ、温玉めし、島井

酒どころ岡山フェア

「伝統の技」から生まれた「酒どころ岡山」の地酒や郷土料理、海の幸、山の幸が集合。

ええものマーケット

手肌のぬくもりを感じさせる岡山の数々の個性ある産物が集合。

あっ晴れ岡山ゾーン

(桃太郎アリーナ サブアリーナ)

岡山の生活文化を「四つのものがたり」で構成。ものづくりの仰天のエピソードや展示を交えて紹介!

- いにしえの人々の 英知が生んだ美味 「岡山の食ものがたり」 よい米、よい水、よい 技の三拍子が揃った 「岡山の酒ものがたり」 伝承の技を現代の 暮らしへ継ぐ 「岡山の手仕事ものがたり」 国産ジーンズ発祥の地 「岡山の衣ものがたり」

エントランスゾーン

(桃太郎アリーナ エントランス)

岡山の生活文化をやわらかくつなぐ デザイン的展示。伝統工芸士等による匠の技の実演や制作体験。そして、親子ワークショップを開催。

(体験教室) 備前焼、撫川うちわ、がま細工、烏城紬など

遊悠おかやまゾーン

(多目的広場)

暮らしのクラフト

岡山の木工・ガラスクラフト作家たちによる暮らしの中で使うアートな生活道具の実演。

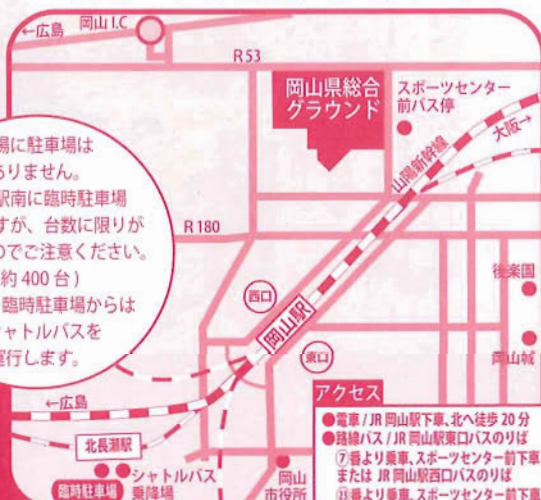
昔あそびひろば

玩具を手作りした昔の子どもたちの遊びをみんなで体験しよう。路上紙芝居も上演。 *けん玉、お手玉、缶ポックリ など

同時開催

- E 大華道展 F おかやまエコ&フードフェア 2010

イベント会場アクセスマップ



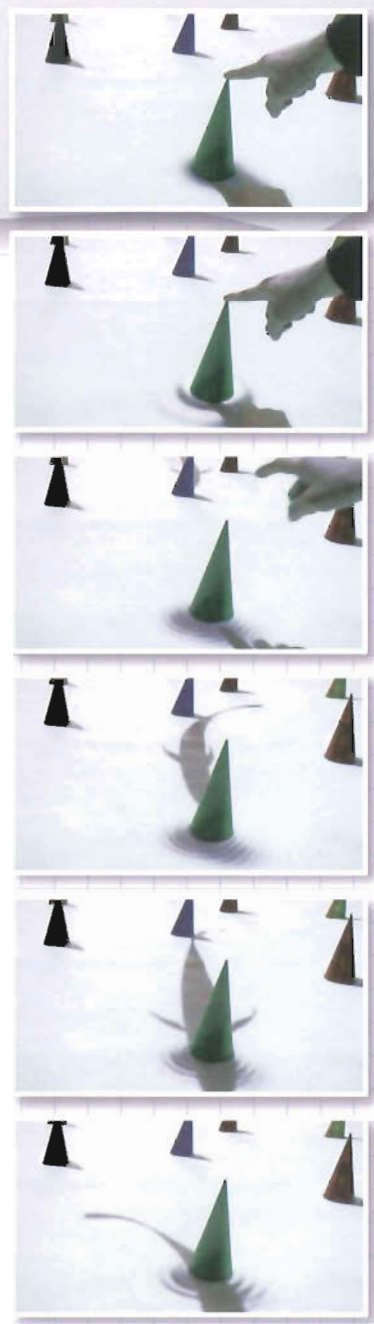
会場に駐車場はありません。北長瀬駅南に臨時駐車場を設けますが、台数に限りがありますのでご注意ください。(約400台) なお、臨時駐車場からはシャトルバスを運行します。

- アクセス ●電車/JR岡山駅下車、北へ徒歩20分 ●路線バス/JR岡山駅東口バスのりば⑦番より乗車、スポーツセンター前下車またはJR岡山駅西口バスのりば⑩番より乗車、スポーツセンター前下車



TOUCH & SEE

触ってみよう！
見てもみよう！



文化庁 メディア芸術祭 岡山展

Japan Media Arts Festival in OKAYAMA

10.30(土) - 11.7(日) ※会期中無休

岡山市デジタルミュージアム

開館時間 = 10:00 ~ 18:00 (入館は17:30まで)

観覧料 = 無料

※なお、岡山市デジタルミュージアム常設展は別途入館料が必要。

<http://plaza.bunka.go.jp/okayama/>

フリップブック作品集「もしもの森」
©近森基+久納綾子, 2009

文化庁 メディア芸術祭 岡山展

Japan Media Arts Festival in OKAYAMA

文化庁では、アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガなどの優れたメディア芸術作品の顕彰と鑑賞機会の提供を目的として、1997年から「文化庁メディア芸術祭」を実施しています。また、2002年からは、これらの受賞作品などを幅広く紹介するため、国内外のさまざまな都市に巡回する企画展を開催しています。今年は、海外においてはイスタンブールで、国内においては京都と岡山で企画展を開催します。

「文化庁メディア芸術祭 岡山展」は、「第25回国民文化祭・おかやま 2010」の開催に合わせ、10月30日(土)から11月7日(日)まで岡山市デジタルミュージアムで開催します。本展覧会では、「TOUCH & SEE 触ってみよう! 見てみよう!」をテーマに、メディア芸術作品の数々を紹介します。近年の文化庁メディア芸術祭の受賞作品を中心に、触ることによって多様な変化や反応が起こるインタラクティブアートの展示や、手描きやクレイ、パペット(人形)などの多彩なアニメーションの上映を行います。また、会期中は出展アーティストによるプレゼンテーションや講演会、ワークショップなども実施します。温もりが通うメディア芸術の魅力を体験できる貴重な機会となります。ぜひ、ご来場ください。

触ってみよう! 見てみよう!

展示

「触ってみよう!」をテーマにして、インタラクティブアートやゲーム、Webなど、触ることによって多様な変化や反応が起こる作品を展示します。メディア芸術を子供から大人まで楽しく体験することができます。

参加作家: Alvaro CASSINELLI, Alexis ZERROUG, 安藤 英由樹, 寛 康明+苗村 健+松下 光範, 草地 映介, 栗原 優作, クワクポリョウタ, 近森 基+久納 鏡子, 中村 眞吾, 馬場 哲晃, 福森 みか, plaplx, 真鍋 大度, Juan Carlos Ospina GONZALEZ, 渡邊 淳司 (50音順)



『PLX』 © クワクポリョウタ



『scoreLight』 © Alvaro CASSINELLI



『Hnanahanahana』 © plaplx, 2009

上映

「見てみよう!」をテーマにして、劇場公開アニメーションや短編アニメーションを上映します。短編アニメーションのプログラムでは、パペット(人形)や、手描きによる作品を特集し、手で表現することの重要性や魅力を紹介します。

上映プログラム: 『サマーウォーズ』、『東京マグニチュード8.0』、文化庁メディア芸術祭短編アニメーションセレクション



『サマーウォーズ』
© 2009 SUMMERWARS
FILM PARTNERS



『東京マグニチュード8.0』
© 東京マグニチュード8.0
製作委員会

ワークショップ

「闇鍋サウンドボックスを作ろう」

講師: クワクポリョウタ

日時: 10月31日(日) 13:30~(2時間程度)

場所: 岡山市デジタルミュージアム 4F 講義室

参加方法: 要申込

※詳細はウェブサイトをご覧ください。

講演会

『電信柱エレミの恋』上映 & 講演会

出演: 中田 秀人 監督(ソバットシアター)

日時: 11月3日(水・祝) 14:00~16:00

場所: 岡山市デジタルミュージアム 4F 講義室

参加方法: 当日の朝10:00から4F受付にて

先着順(80名)に整理券を配布します。



【岡山市デジタルミュージアム】

〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町15-1

TEL 086-898-3000

アクセス= JR岡山駅西口向かい、リットシティビル南棟4・5階

※専用駐車場、契約駐車場はございません。

観覧料=無料

※なお、岡山市デジタルミュージアム常設展もご覧になる場合は

以下の入館料が必要です。

【個人】一般300円、大学生・高校生200円

【団体(20名以上)】一般240円、大学生・高校生160円

※中学生以下/65歳以上の方/身体障害者手帳、療育手帳又は

精神障害者保健福祉手帳持参者とその付添い者1名は無料。

お問合せ = CG-ARTS 協会 文化事業部 03-3535-3501

<http://plaza.bunka.go.jp/okayama/>

同時開催

Okayama Media Arts Festival 2010

メディア芸術を学ぶ県内大学・専門学校の学生や教育者を中心に「岡山におけるメディア芸術の今」を発信します。岡山県立大学出身の映像作家・山口崇司が参加するユニット「d.v.d」(drums, visuals, drums)ライブも開催します。

場所: 岡山市デジタルミュージアム
5階特設会場(ライブ、トークは4階講義室)

観覧料: 無料

主催: 第25回国民文化祭岡山県実行委員会

OMAF2010
Okayama Media
Arts Festival 2010
2010.10.30 - 11.07

O

K

A

Y

A

M

A

M

E

D

I

A

A

R

T

S

F

E

S

T

I

V

A

L

2

O

L

O

*

L

O

*

3

O

-

L

L

*

O

7

OMAF 2010
 Okayama Media Arts
 Festival 2010
 2010*10*30-11*07



OMAF 2010 Okayama Media Arts Festival 2010

日時：2010年10月30日(土)～11月7日(日) 10:00～18:00 会場：岡山市デジタルミュージアム(無料、会期中無休)

主催：文化庁、岡山県、岡山県教育委員会、岡山市、岡山市教育委員会、第25回国民文化祭岡山県実行委員会、第25回国民文化祭岡山市実行委員会 共催：岡山県立大学
協力：倉敷芸術科学大学、専門学校ビー・マックス、専門学校岡山情報ビジネス学院

岡山県には岡山県立大学や倉敷芸術科学大学など、メディア芸術を学べる教育機関があり、それらの学生や教育者による作品を展示上映し、「岡山におけるメディア芸術の今」を発信します。
会場では5階特設会場を作品形態により6つのゾーンに分けて展開するほか、4階講義室では映像作品の上映、「d.v.d」ライブ、漫画家トークを開催します。また、岡山県立大学でもワークショップを実施します。若き感性による次世代の表現に触れていただきながら、「メディア芸術」を体験してください。

EXHIBITION

作品展示 * 5F展示スペース

展示スペースは、「デジタルブックゾーン」「ワンクリックゾーン」「音ゾーン」「スクリーンゾーン」「遊びゾーン」「イラストゾーン」という6つのゾーンで構成され、自由に触ったり操作して楽しむインタラクティブ作品や、空間を使って体験したり感じることでできるデジタル作品が展示されます。



THEATRE

作品上映 * 4F講義室

クラフト感あふれるクレイ(粘土)やパペット(人形)を使ったアニメーションや、水彩絵の具や影絵を使ったアニメーションなどを大画面で上映します。また実写映像作品は、短編映画やショートショートなど、短いながらもドラマチックな作品がお楽しみいただけます。

WORKSHOP

ワークショップ * 別会場(岡山県立大学 / 総社市)

11/3(水・祝) 10:00～14:00

『みんなで作ろうラクガキアニメ!』と題し、岡山県立大学デザイン学部ITコンテンツデザインコースの学生達と一緒にアニメーション制作を体験できます。描いた絵が動き出す感動を体験できるチャンスです。是非ご参加下さい。小学生対象。定員15名。応募締切10/15(水)。応募者多数の場合は抽選になります。応募方法など、詳しくは専用ウェブサイト(www.itcd.oka-pu.ac.jp)をご確認ください。



アクセス：
電車 JR岡山駅西口より徒歩1分
バス JR岡山駅行き
自動車 山陽道岡山ICより約15分
駐車場 なし

EVENTS

スペシャルイベント * 4F講義室

● d.v.d (drums, visuals, drums) ライブ

11/6(土) 16:00～17:30

参加方法：当日朝10時から4F受付にて先着順(80名)に整理券を配布します。

個性派ドラムデュオ Itoken + Jimanica によるオーガニック & メカニクな音楽と、映像作家・山口崇司による幾何ポップな映像との新型トリオ。2006年の初ライブ以降、音楽を超えた様々な方面で話題を集めています。



● にしがきひろゆき 漫画家トーク

10/31(日) 16:00～17:30

参加方法：当日朝10時から4F受付にて先着順(80名)に整理券を配布します。

岡山市生まれ岡山市在住のマンガ家、にしがきひろゆき氏の『ちょこらん』からみるマンガ表現の面白さや、メディアの変遷による表現について、「月刊IKKI」の江上英樹編集長と『ちょこらん』編集担当の佐藤祐二氏の3名をお迎えし、トークショーを行います。



「ちょこらん」

©にしがきひろゆき / 小学館 月刊IKKI

● 岡山県立大学プレゼンテーション『デジコレ'10』

11/7(日) 10:30～12:30

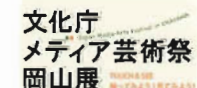
岡山県立大学デザイン学部ITコンテンツデザインコース学生が制作したデジタル作品を、作者自ら紹介するプレゼンテーションステージ『デジタルアーツコレクション(略してデジコレ)'10』を開催します。作品ジャンルは、短編映像、ゲームやデジタル絵本などのインタラクティブ作品など。作者のコメントにはデジタル作品の見どころや楽しみ方などヒントがいっぱいです。

お問い合わせ：



第25回国民文化祭岡山県実行委員会事務局
086-226-7906
http://okayama-kokubunsai.jp/
kokubunsai@pref.okayama.lg.jp

同時開催：



http://plaza.bunka.go.jp/okayama/